

骨粗鬆症リエゾンサービスについて

- 脆弱性（ぜいじゃくせい）骨折と呼ばれている、骨粗鬆症（骨密度が低下して骨がもろい状態）が原因で引き起こされる骨折があります。骨粗鬆症による再骨折は予防することが大切です。
- 骨粗鬆症の進行予防には薬物治療だけでなく、転倒予防・運動指導・栄養指導が必要不可欠です。骨粗鬆症リエゾンサービスによる再骨折予防サポートで食事や運動習慣を見直し、また骨粗鬆症の薬剤を服用することで再骨折のリスクの軽減が期待できます（リスクはゼロにはなりません）。
- 骨折が治った後も、継続的に検査を行い骨の状態を確認すること、そして薬物治療を継続することが重要です。当院の骨粗鬆症リエゾンサービスがかかりつけ医の先生と連携し、治療にあたります。
- 当院では日本脆弱性骨折ネットワーク(FFN-J)中心となって進めている日本の大腿骨近位部骨折データベースプロジェクトに参加して、日本における大腿骨近位部骨折治療の状況や課題について検討する治療経過の登録を実施しています。本プロジェクトへのご協力をお願いいたします。

内容

1. 入院中の問診と退院後電話などによる聞き取りについて

入院中および入院後 30 日目、120 日目、365 日目の治療経過と健康について聞き取りを行います。

- 特別な費用はかかりませんが、通常の医療行為の支払いは必要となります。

• 個人情報の取り扱いについて

患者様・ご家族に関する個人情報は当院にて厳重に管理されます。治療経過については個人が特定されない情報としてプロジェクト事務局に報告されますが、プライバシーは厳格に守られます。また学会や教育などの学術目的のために使用されることがありますが、その際にも個人情報は厳重に守られます。

その他

1. 同意を頂き、その後不都合がある場合にはお断りになられても、治療上に不利益になる事は一切ありません。
2. 同意しがたい事項がある場合には、その旨を主治医までお申し出下さい
3. お申し出がないものについては、同意していただけたものとして取り扱わせていただきます
4. これらの申し出は、いつでも撤回する事ができます。

何か疑問に思われることや、ご質問がありましたらどうぞ遠慮せずに主治医・看護師にお申し出ください。